

2 展覧会事業実施状況

(1) 企画展

展覧会名	① 企画展1 (共催展) 「善光寺御開帳記念 “いのり”のかたち —信濃の仏像と国宝土偶「仮面の女神」 「縄文のビーナス」—」	② 企画展2 「ドラッカー・コレクション 珠玉の水墨画 「マネジメントの父」が愛した日本の美」	③ 企画展3 「没後50年 “日本のルソー” 横井弘三の世界 展」	④ 企画展4 (共催展) 「描かれた女たち 女性像にみるフォルム／現実／夢」	⑤ 企画展5 「東山魁夷館25周年記念 日展三山—東山魁夷、杉山寧、高山辰 雄—」
会期	4/4(土)～5/31(日) 水曜日休館(4/29、5/6開館) 開催日数 52日間	7/11(土)～8/23(日) 水曜日休館(8/12開館) 開催日数 39日間	9/12(土)～11/8(日) 水曜日休館(9/23開館、翌9/24休館) 開催日数 50日間	11/13(金)～12/20(日) 水曜日休館 開催日数 33日間	7/18(土)～9/1(火) 水曜日休館(8/12開館) 開催日数 41日間
内容	2009年「いのりのかたち—善光寺信仰展」の続編として、おもに銘文や像内納入品によって制作時期や来歴がわかる平安時代後期から鎌倉時代の仏像に焦点を当てた。善光寺信仰の広がりを示す善光寺仏師妙海の仏像をはじめ、重要文化財を含む、ふだんは拝観できない県内各地の秘仏や善光寺ゆかりの宝物を一堂に展示した。また、特別展示として、仏教が伝来する以前の「いのりのかたち」である国宝「縄文のビーナス」、新たに国宝に指定された「仮面の女神」を展示し、日本彫刻史への理解を深める機会とした。	世界的に有名な経営学者、ピーター・F・ドラッカー(1909～2005)のコレクションによる展覧会。稀少な室町時代の水墨画、江戸時代の池大雅や浦上玉堂等の文人画、近年人気が高い伊藤若冲や長澤蘆雪等、その珠玉のコレクションを再調査し、初公開作品を含む111点を紹介した。 ※千葉市美術館、山口県立美術館との共同開催	飯田市生まれ、独学で油絵を学んだ横井弘三(1889～1965)の回顧展。横井は26才で二科会に初出品で入選、翌年には二科賞を受賞、“日本のアンリ・ルソー”と呼ばれ高い評価を受けながらも、徐々に中央画壇と距離を置き、戦後は長野市に多く滞在した。そんな横井作品の愛好家は現在も多く、平成8年より長野県内の横井ファンが「横井弘三とオモチャン会」を結成し、作品の発掘と散逸防止・関係者の証言記録・作品の研究に努めてきた。本展では同会の活動の足跡とともに、初期から晩年までの作品を一堂に紹介した。 ※練馬区立美術館との共同開催	日本の絵画にあらわれる人体像は、明治以降大きく変わった。西洋美術と出会い、科学的に対象をとらえる見方と、陰影法等立体感を表す描法を学んだこと、また、理想的身体像であるヌードやその意味を知り、さらには絵画とはなにかという問題について西洋近代的な概念を受容したことなどがその理由としてあげられる。本展では、明治から現代までの、女性を描いた絵画に焦点を当て、それぞれの女性像から浮かび上がってくるものの多様性を考える。	日展を舞台に昭和の美術を華やかに彩り、人びとから親しみと尊敬の念をこめて「日展三山」と呼ばれた三巨匠に焦点をあてた展覧会。戦後の日本画を牽引した三人の原点ともいえる東京美術学校の卒業制作、東京オリンピックが開かれた昭和39年の出品作等を一堂に紹介した。 また、本展は長野県信濃美術館 東山魁夷館25周年、香川県立東山魁夷せとうち美術館 開館10周年を記念し、2館ではじめて共同企画した。
会場	第1・第2展示室・小展示室	第1・第2展示室・小展示室	第1・第2展示室・小展示室	第1・第2展示室・小展示室	東山魁夷館展示室
観覧料金	大人1,300円、大学生1,100円、高校生以下無料、前売券(大人)1,100円 東山魁夷館との共通料金:大人1,600円、大学生1,200円	大人800円、大学生600円、高校生以下無料 東山魁夷館との共通料金:大人1,000円、大学生700円	大人800円、大学生600円、高校生以下無料 東山魁夷館との共通料金:大人1,000円、大学生700円	大人1,200円、大学生1,000円、高校生以下無料 東山魁夷館との共通料金:大人1,500円、大学生1,100円	大人600円、大学生400円、高校生以下無料 本館との共通料金:大人1,000円、大学生700円
主催等	主催:長野県、長野県信濃美術館、信濃毎日新聞社 共催:長野県教育委員会、(公財)信毎文化事業財団、信越放送	主催:長野県、長野県信濃美術館、日本経済新聞社 共催:長野県教育委員会 特別協力:SANSO LLC 協力:ドラッカー・インスティテュート、日本航空	主催:長野県、長野県信濃美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会 共催:長野県教育委員会 協賛:ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜 協力:横井弘三とオモチャン会	主催:長野県、長野県信濃美術館、テレビ信州 共催:長野県教育委員会 企画協力:(公財)日動美術財団	主催:長野県、長野県信濃美術館 共催:長野県教育委員会
イベント	(1)ギャラリートーク/計6回、206名参加 (2)講演会①「信州の仏像—在銘像および未出品・新指定作品を中心に」 講師:武笠朗(実践女子大学教授) 講演会②「いのりの美術～人は何に祈ってきたか～」 講師:若麻績敏(善光寺白蓮坊住職) ①②(4/18)/合計195名参加 講演会③「土偶にこめた縄文の“いのり”」 講師:三上徹也(上伊那農業高校教諭) (4/25)/152名 講演会④「善光寺と東京藝術大学」 講師:藪内佐斗司(東京藝術大学大学院教授) (5/9)/151名 (3)「善光寺如来絵伝」絵解き 講師:小林玲子(長野郷土史研究会副会長) (4/17、5/1、15)/合計453名	①ギャラリートーク/計6回、108名参加 ②講演会「ドラッカー先生の思い出—ドラッカーさんが恋した日本の美術—」 講師:河合正朝(千葉市美術館長)(7/11)/63名 ③ワークショップ「筆であそぼ!」 講師:川村龍洲(書家・驥山館館長)(7/20)/40名	①「横井弘三とオモチャン会」によるギャラリートーク/計9回/131名 ②学芸員によるギャラリートーク/計9回/66名 ③焼き絵ワークショップ/(9/19)36名 ④座談会「横井弘三を語ろう」(9/27)/矢島新(跡見学園女子大学教授)、スズキコージ(絵本画家)、黒田弘志(「横井弘三とオモチャン会」会長、映像ディレクター)、前澤朋美(信州新町美術館学芸員)/64名	①ギャラリートーク/計5回 ②講演会「近代洋画にみる女性像」 講師:山梨絵美子(東京文化財研究所)(11/21) ③ワークショップ「石こうと布を使って、作品をつくってみよう!」(11/29)/定員20名	①ギャラリートーク/計5回/83名 ②講演会「父、高山辰雄と杉山先生、東山先生の思い出」 講師:高山由紀子(脚本家、映画監督)(8/1)/97名 ③ワークショップ「岩で絵の具をつくろう!」(8/9)/34名
入場者	総入場者数 33,642名 (有料26,667、無料6,975) 目標入場者数 30,000名/ 達成率 112.1%	総入場者数 11,088名 (有料6,735、無料4,353) 目標入場者数 10,600名/ 達成率 104.6%	総入場者数7,104名 (有料3,494、無料3,610) 目標入場者数8,000名/ 達成率88.8%	目標入場者数 8,500名/ 達成率-%	総入場者数 17,342名 (有料 12,680、無料 4,662) 目標入場者数 23,400名/ 達成率74.1%
図録	公式ガイドブック 1,944円、出品目録	図録 2,300円、出品目録	図録 2,200円、出品目録	図録 1,800円、出品目録	図録1,100円、出品目録
予算	負担金 2,620,000円	予算 13,159,420円	予算 9,892,257円	負担金 2,620,000円	予算 9,656,180円
担当	伊藤羊子 松浦千栄子	伊藤羊子 渡辺美保	伊藤羊子/木内真由美/渡辺美保	松浦千栄子 古館遼	伊藤羊子 梨本有見